

令和 4 年度富谷市立あけの平小学校 学校関係者評価書

令和 5 年 2 月 9 日
学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- 前年度と比較して、保護者アンケートが総じて大幅なポイント上昇となっていることは、教職員が問題意識をもって取り組んだ成果と考えられる。
- コロナ禍により、各学校行事がこれまでどおりにはいかない中で、学校は、子供たちの実態や社会状況などを踏まえ、適切に計画し実施していることがうかがえる。また、地域や保護者に学校を見てもらおうとしている姿勢がうかがえる。
- 授業において、タブレットが大いに活用されている。子供たちにとってもタブレットは身近なものとなっており、使いこなしているところがすばらしい。

(2) 成果について

- 「開かれた学校づくり」としてのブログの活用がすばらしい。
- 感染症対策を講じながら、運動会や学習発表会、授業参観等の学校行事が、コロナ禍以前に近い形で実施できている。
- 学習指導や生徒指導において、支援が必要な児童に対して、担任だけでなく、チームで対応する体制ができていることは、学校の課題を学校全体で取り組んでいる成果の表れである。

(3) 課題や改善を要する事項について

- 学校独自の設問で、「分からない」と回答した割合が20%を超えていた設問が2問あった。情報提供の更なる工夫が求められる。
- いじめ問題については、互いのよさを認め合う場を設定し、さらに強化していく必要がある。
- 地域との連携については、もっと働き掛けが必要である。公民館との連携を深めると共に、PTAの本部役員からの働き掛けも必要である。
- タブレットの活用に伴い、情報モラルについての指導が大切になってくる。保護者へのタブレットの操作方法や活用の仕方について説明する機会を設定していく必要がある。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<p>○コロナ禍への対応も変わり、学校も感染対策を取りながら、地域や保護者へ学校の様子を見てもらうために開放を行っているのogaうかがえる。</p> <p>○地域ボランティアとの連携も戻りつつあるが学校と公民館との連携については、もっと話し合いが必要である。</p> <p>○施設において、トイレの汚れが心配される。コロナ禍で3年間ボランティアの手が入らず、子供たちの掃除だけでは難しい。また、令和4年3月の地震による修復工事がまだされていないので、できるだけ早い時期の工事が望まれる。</p>
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	C	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	A	<p>○タブレットの活用については、子供たちが楽しく使いこなしていることに驚いた。先生方も効率よく子供たちの作品等を一度に確認できていた。</p> <p>○富谷市全体に言えることだが、子供たちの体力の低下が見られる。休み時間等を利用してもっと運動するよう働き掛けてほしい。</p> <p>○「ありがとうございます」「ご苦労様です」など、しっかりお礼を言える子がいるので、道徳面もしっかり指導できている。しかし、相手を傷つけてしまう言葉を使ってしまう子に対しては、今後も指導が必要である。</p>
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	B	<p>○子供たちがタブレットを使いこなせるようになり、個人情報等、きわどい内容についても調べられるようなので、情報モラルについてもしっかり指導していく必要がある。</p> <p>○食や早寝などについては、家庭と連携して指導していく必要がある。</p> <p>○読書については、「調べる学習」にもっと力を入れて取り組んだ方がよい。</p>
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	B	
	4 図書館教育	B	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
地域との連携について		B	<p>○地域の力なしでは、子供たちを守ることはできない。まだまだ地域との関係づくりは必要である。</p> <p>○学校からボランティアを募り、学校に多くの在校生の保護者が入るとよい。</p>
いじめ問題への取り組み		B	<p>○大事な問題なので、これからも全職員で対応してほしい。</p> <p>○いじめ問題への取組を更に強化してほしい。帰りの会や学校行事振り返り等で、互いのよさを認め合う場を作してほしい。</p>